

式辞

柔らかなぬくもりに包まれる今日ここに、ご来賓ならびに新入学生の保護者の方々のご臨席を賜り、令和五年度豊田工業高等専門学校入学式をかくも盛大に挙行できますことに、まずもって感謝を申し上げます。

ただいま、二百六名の本科新入生、再入学する学生一名、転入学する学生一名 第三学年に入学する三名の留学生、そして専攻科入学生二十一名、あわせて二百三十二名の皆さんをお迎えできることを、本校教職員一同大変喜ばしく思っています。皆さん、入学本当におめでとう。皆さんは、豊田高専を志望し、努力を重ね、入学試験に見事合格して本日を迎えています。実力をつけ、自信も湧いていることでしょう。まずは自らを褒めてあげてください。そして、もう一つ大切なこと。それは、君たちの心身のコンディションを、自分のこと以上に大事に思い、コロナとも戦ってここまでケアし見守ってくださった、親御様あるいはさらにご親戚の皆様にも、今一度深い感謝の気持ちを伝えること。直接言葉で感謝の気持ちを表すようにしてください。

保護者の皆さまにおかれましては、ご子息ご令嬢の入学、誠におめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。彼らが胸を張ってこの入学式に臨んでいる晴れ姿をご覧になり、感慨深いものがあるかと拝察します。今後とも温かく彼、彼女の成長を見守ってあげてください。よろしくお願い申し上げます。

さて、豊田高専は昭和三十八年に実践的、創造的技術者の早期教育を目的として、愛知県でただ一校の五年一貫制、国立高等教育機関として設置されました。そして、今年度で創立六十周年を

迎える豊田高専の歴史の中で培われた本校の特長の第一は、学生の自主性、自律性を重んじる校風であります。昨年の今日、私は皆さん一年先輩にあたる当時の入学生を含むご来場の皆様とともに、自主性・自律性はなぜ重んじられるべきかを考えました。その答えは、自主性・自律性を高めることの逆、つまり人に言われたことだけをする場合を対比的に考えると分かりやすく、成功したときには自信が得られ、たとえ失敗したとしてもやり直しに前向きになれると、自分のためになることばかりだと理解できました。

今日は、皆さんが高専に来て学力をどのようにして身に付けるべきか？について考えてみましょう。これは直接には、課題レポートの提出や定期試験の得点で量られる成績によって評価され、自分でも実感できるものですね。ある分野のある科目の体系化された学習内容の中で、およそどのような課題を解く場合にも役立つような知識と能力、これはすなわち基礎学力ですが、まずこれを頼りに応用問題を解き始めることでしょう。学力の、この基礎をなす学習内容の基本的な考え方は、実は分野横断的に役立つ場合が多いのです。ただ、技術は日進月歩ですから、技術の広がりが、たとえば自動車工学といった「ひとつの分野」の体系化の肥大化を招くという教育の普遍的なジレンマを生じ、もって習得すべき基礎的な内容も増えることがあります。ひとつの科目の授業の中では「ここが大事」と先生が教えてくださったり、先輩も指摘してくださることも多いですが、分野をまたいで類似の内容がでてきたら、ぜひ「大事な学習内容にちがいない」とその有用性を自分自身でかぎ取って、確実にあるいはさらに深く理解して習得することができるようにならなければなりません。そうすれば、自分にとって大いに役立つ道具を使いこなす力、つまり問題解決能力を高められるようになります。

加えて、近年、皆さんに要求される学力は、問題を解くための知識と能力だけでなく、資質あるいは態度にも及び、その割合が

増ってきています。問題に直面した際に常に「なぜだろう?」と分析的に捉えようとする態度や、「こうしたらよいのではないか」という創造的な発想、さらにはより深く学ぼうと心がける態度、などがこれにあたります。常に自分に向かって、あるいは他のメンバーに対して問いかけ答えを見出そうとする態度を養って、ぜひ、このような資質の向上もあわせて目指すようにしてください。

ところで、本科入学の皆さんには、この豊田高専で送る五年の間に、勉学は言うに及ばず、部活動、地域社会貢献、ボランティア活動、海外留学など、たくさんのチャンスがあります。

また、専攻科の皆さんには、いろいろな分野の研究を通じて、先端の科学技術や高度な社会実装のための学問を深めるチャンスがあります。しっかりと情報を集め、先生方にも相談し、親御様、先輩をはじめ周囲の方々とよく相談して、ぜひ、そのときどきに自らの決意でターゲットを絞り、常に主体性をもって取り組んでください。

社会的な課題意識を伴って実問題を解いたり、実習を経験したりする豊田高専の大きな特徴である実践教育を通じて、皆さんの豊かな感受性はより強い社会貢献意欲や共感力を育みます。そして、豊田高専で学ぶ皆さんだからこそ、個々に専門性を発揮し

つつ広い見識を持ってグローバルな社会問題に対峙できるよう
な、スケールの大きな技術者へと成長してくれる、われわれ教職員は皆そう信じています。

インターネットやGPS、移動通信システムはスマートフォン
末を介して今日の私たちの情報化を支えています。既に実

証実験が進行している自動運転、リニア中央新幹線、空飛ぶ自動車は、やがて社会の基盤を根幹から変えることでしょう。これらは、そのときどきの夢を実現したり社会の問題に対処したりしようとする人類の叡智と努力の集積により成し遂げられてきました。いずれも、彼ら彼女らに繰り返し訪れたであろう失敗に決し

て負けることなく、日々コツコツと努力した結果成し遂げられた大偉業です。

大規模災害やグローバルな感染症拡大、深刻な少子高齢化にインターネットがもたらす人々の社会的孤立など、今日、社会の問題はますます複雑化、グローバル化しています。これらにやがて対峙すべく、君は今エンジニアやサイエンティストに向かう原点に立っています。さあ、自らの意思で一步一步勇気をもって踏み出して行きましょう。その態度は、人々がやがて「ありがたい」「無くては困る」と思うような、独創的かつ偉大な技

術を作り上げることになる将来の君へとちゃんと繋がっていくのです。

以上、新入生の皆さんを心から歓迎し、私の式辞といたします。本日は、誠におめでとうございました。

令和五年四月四日 独立行政法人 国立高等専門学校機構

豊田工業高等専門学校長 山田陽滋